

防災講演会の講師を派遣します

帯広市町内会連合会では、町内会や自主防災組織が実施する防災講演会等に講師を派遣する事業を実施しています。災害をテーマにした講話、過去の災害事例の紹介、応急処置方法の実演、防災ゲームの実施、スマホセミナーなどを通じて、安心・安全な地域づくりを応援します。

希望する町内会等は、申請書に必要事項を記入の上、お申し込みください。



1 派遣する講師と講演内容

(1) 村田 真弓 氏 (防災士、防災マスター、救急法指導員)

- ①「応急処置を学ぼう」・・・心肺蘇生法（AED、三角巾）、止血方法、救助方法、搬送方法
- ②「知っておくと役に立つ 防災の豆知識」・・・地震時計（震災後の時間的流れ）、防災対策
- ③「避難所生活のあれやこれ」・・・避難所生活でのルールや不便さ、心のケア
- ④「災害に強い家族を作ろう」・・・家庭でできる防災グッズ（ダンボールトイレ・シーチキン灯り）、家庭内DIG、避難口・通路のあり方、家庭内での避難方法、災害伝言ダイヤルの使用方法
- ⑤「避難所運営ゲーム（HUG）」
- ⑥「クロスロードゲーム」

(2) 佐藤 悦弘 氏 (帯広ライフサポート協会代表、救急救命士、防災マスター、防災士、応急手当指導員、安全水泳指導員)

- ①「身の周りにあるものを使った応急処置・応急救護」・・・百円グッズの多種活用法
- ②「応急手当の基礎知識」・・・からだの知識、応急手当（三角巾法、止血法、搬送法等）
- ③「救命法の基礎知識」・・・心肺蘇生（乳幼児と大人）とAED、止血法、異物除去法
- ④「家族で学ぶ防災の知恵」・・・あなたは、愛する家族を救えますか？（災害の心構え）
- ⑤「防災ロープワーク」・・・災害時と避難生活に役立つ結び方の知識と実技
- ⑥「いのちを守る着衣泳」・・・洪水災害時の安全確保の着衣泳の知識と実技

※注 講師派遣は、概ね30名以上の講習会が対象です。派遣回数は30回で先着順です。

(3) スマホセミナー (携帯キャリア事業者)

体験用スマホを実際に操作しながら、カメラや地図など起動方法や基本的な使い方を学ぶことができます。スマホでアプリが使えるようになれば、天気アプリで気象情報を確認して災害のリスクを事前時確認したり、防災アプリで防災情報をすばやく入手したりすることができるようになります。

※注 スマホセミナーは、参加人数5～25名程度の開催でお申し込みが可能です。

派遣回数に制限はありませんが、実施予定の2か月以上前からの申し込みが必要です。

2 注意事項

- ・ 講師派遣にかかる講師謝礼は市町連が負担しますが、開催にかかる経費（会場費、資料代など）は各町内会等でご負担願います。（スマホセミナーを希望する場合は、プロジェクターの投影が可能なスクリーン、ホワイトボード、又は白い壁面のある会場等を準備していただく必要があります。）
- ・ 他の講師に依頼をする場合も講師謝礼の助成対象（上限有）になる可能性がありますので、ご相談ください。

3 申込み、問合せ

帯広市町内会連合会事務局

担当：帯広市 総務部 危機対策室 危機対策課（庁舎5階）担当：川口

電話／65-4103 FAX／23-0151 E-mail：bousai@city.obihiro.hokkaido.jp

※電話、FAX、メールでのお申し込み可